

横田基地問題を考える会

ニュース
第1号

2008.4.29
連絡先042-535-0413 岩田

結成総会に9名が参加

5名が入会

横田基地問題を考える会

て記念講演をして下さいました。

した。

講演に対し多くの質問

が出されました。その後、

会の結成と会則の提案があ

り、全員の拍手で承認され

昭島市昭和会館で行われました。東京新聞編集委員の半田滋さんが「米軍再編・横田基地と自衛隊」と題し

が提出されました。その後、会の結成と会則の提案があ

り、全員の拍手で承認され

た。

半田滋さんの講演をはじめ、役員の方々のお話を聞いて、いま「横田基地」は想像を超えて総合作戦司令部としての機能を強めつつある実態の一部を知りました。

アメリカは年間五十兆円も軍事費を使い肥大した軍隊はヨーロッパ地域へ十万、アジア地域に十万人も常駐させ財政面の疲弊は国そのものの破綻を招きかねない危険を招いている…とのこ

と。

頼りになる「同盟国日本」への期待は高まるばかり。

防衛省や石原知事らに依る周辺自治体への「再編交付金」の「飴」の政策や、軍民共用空港の利便性、経済効果を売り物にした宣伝は素直に受け入れられない。

まだ良くわからない基地のベルを一枚ずつはがしていくのも「会」の仕事かななどと思った。

な

ど

思

った

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

日本中から世界中から軍事基地のなくなることを願つて

匿名（立川市 女性）

日本中から、そして世界中から軍事基地のなくなることを願っています。戦争大好きな国アメリカの属国になり下がつてしまつた日本、本当に情けないです。

そして、どんどん戦争ができる国になつていく日本、本当にこわいです。具体的な活動はあまりでさせで下さい。

戦時体制への基盤整備の一方 国民を踏みつけにする政治

砂山 洋一

新聞を見て参加しました。私の住む東村山市の上空にも戦闘機が飛来しています。先日は新聞のベタ記事でしたが興味深い内容が掲載されました。三月二七日に東京都の横田基地軍民共用化に関する検討委員会が主催した「日米協議のあり方を考えるセミナー」で、米国防総省元日本部長のポーラ・ジアラ氏が①日米軍事同盟の広い視野で交渉すべきである②自衛隊との軍事共用を最優先すべきだと主張したと記事は結んでいます。半田さんの話は、米軍再

編の名による戦争体制への基盤整備とそのもつてている危険な意図を明らかにし、近隣住民の平和と安全にも大きな影響を与えることを鮮明にしました。

幅広い平和追求勢力を 結集出来る場を！

米山 義盛

使え。

おごる米国・米軍をどう

までないという切実な時、軍事費の抜本的な縮減を行

場した日本経団連の奥田代表のもと、日本の財界は明確に憲法を変えて「戦争する国」へ進路をとることを求める、海外における日本企業の活動とその家族を守るために常備軍としての軍隊をもつことへの明確な意思を示しました。

私は、東村山市の上空に飛来しています。

小泉元首相と前後して登場した日本経団連の奥田代表のもと、日本の財界は明確に憲法を変えて「戦争する国」へ進路をとることを求める、海外における日本企業の活動とその家族を守るために常備軍としての軍隊をもつことへの明確な意思を示しました。

そして、現実の政治が、その流れで彼等の要求に応える法改正を強力に推進してきたことは、すでに承知の事実です。二〇三八億円の思いやり予算を提供する一方で、後

期高医療制度で国民を踏みつけにしている現実を、もっと多くの人々と共有する取り組みを、この会と連携して東村山で努力したいと思っています。

石村 和弘

東京の「基地問題を考える」スタートになると思います。

半田さんの話にあつた「日本は米国の属国だ」とつい最近発言したとあります。ぐさっと胸にささった言葉です。

世界に広がる「核兵器はなくせ」の声を広げる運動をしており者として、この会に参加します。

横田基地問題を米国をはじめ、世界に知らせることが大切だと思います。

アメリカが日本国憲法を無視し躊躇し、日本政府に従属を強要し、日本政府・自治体はこれに従属するため、これまでのようない基地害・人権侵害が横行しています。

橋本 左内

憲法の本質を堅く保持して



生涯現役で

秦 恒彦

現在八一才ですが気持ち抑えていくか幅広い平和追求の勢力を結集できるような場を他組織・団体と作つていて欲しいし、多くの市民が参加出来る取り組みで、横田基地を消失させていきたい。会の大盛況を祈ります。

私は、東村山市の上空に飛来しています。

小泉元首相と前後して登場した日本経団連の奥田代表のもと、日本の財界は明確に憲法を変えて「戦争する国」へ進路をとることを求める、海外における日本企業の活動とその家族を守るために常備軍としての軍隊をもつことへの明確な意思を示しました。